

資料 1 2 大阪に被害をもたらした過去の主な地震

表 大阪に被害をもたらした過去の主な地震

	発生年月日		震央			規模 M	主な被害地	大阪での被害状況	タイプ
	西暦	和暦	緯度 °N	経度 °E	地名				
1	887.8.26	仁和3.7.30	33.0	135.0	紀伊半島沖	8・8.5	五畿七道	大阪湾に津波被害	海溝型
3	1099.2.22	承德3.1.24	33.0	135.5	紀伊半島沖	8・8.3	南海道		海溝型
4	1099.9.20	承德3.8.27	-		河内	-	河内	小松寺講堂倒れる	直下型
5	1360.11.22	正平15.10.5	33.4	136.2	-	7.5・8	紀伊・摂津	23日津波が大阪湾に侵入。人馬多く死す。	海溝型
6	1361.8.3	正平16.6.24	33.0	135.0	紀伊半島沖	8・8.5	畿内・土佐・阿波	大阪湾に津波進侵入	海溝型
7	1498.9.20	明応7.8.25	34.0	138.0	東南海沖	8.2・8.4	東海道全般		海溝型
8	1510.9.21	永正7.8.8	34.6	135.6	摂津・河内	6.5・7	摂津・河内	大阪湾に津波侵入。潰死者あり	
9	1579.2.25	天正7.1.20	34.7	135.5	摂津	6.0	摂津		直下型
10	1586.1.18	天正13.11.29	36.0	136.9	-	7.8	畿内・東海・北陸		
11	1596.9.5	文禄5.7.13	34.7	135.6	京都・畿内	7連	京都・畿内 (伏見大地震)	大阪でも潰死者多く、堺で死者600名余	直下型
12	1605.2.3	慶長9.12.16				7.9	東海・南海・西海		海溝型
13	1662.6.16	寛文2.5.1	35.2	136.0	琵琶湖西岸	7・7.6	山城・大和・河内 和泉・丹後・若狭等	大阪では石垣、櫓、堀等に被害あり	直下型
14	1707.10.28	宝永4.10.4	33.2	135.9	五畿七道	8.4	東南海・東山・西海 諸道・畿内 (宝永地震)	崩家1,074、崩橋61、死者542、津波被害あり	海溝型
15	1854.7.9	嘉永7.6.15	34.8	136.0	伊賀・伊勢・大和	7・	伊賀・伊勢・大和	堺で死者1	直下型
16	1854.12.23	嘉永7.11.4	34.0	137.8	東海・東山・南海道	8.4	東海・東山・南海道 (安政東海地震)	大阪震度 (推定)	海溝型
17	1854.12.24	嘉永7.11.5	33.0	135.0	畿内・東海・東山・南海	8.4	畿内・東海・東山・北陸・南海・山陰・山陽道 (安政南海地震)	津波が木曾川、安治川を逆流し碇泊中の船多数(8,000)破損し、橋をこわし、死多数(7,000)潰痛家も多かった(1,00)	海溝型

18	1891.10.28	明治24	35.6	136.6	岐阜県西部	8.0	愛知県・岐阜県 (濃尾地震)	摂津では死者23人、傷76、全潰247 半潰148、堤防崩壊3。和泉では 死1、傷16、全潰14、半潰2、河 内では傷2、全潰750、半潰558	直下型
19	1899.3.7	明治32	34.1	136.1	紀伊半島 南東部	7.0	奈良県・三重県・ 和歌山県	大阪市では煉瓦煙突1ヶ所破損 小学校一棟損壊	直下型
20	1927.3.7	昭和2	35.5	135.2	京都府 北西部	7.3	京都府・兵庫県北 部(北丹後地震)	大阪府では死者21、負傷者126、 全潰127、半潰117	直下型
21	1936.2.21	昭和11	34.6	135.7	奈良県北部	6.4	奈良・大阪の府県 境 (河内大和大地震)	大阪府の震央に近い地域に被害 多く、死者9、負傷者59、全半壊 148、山地に小さな崖崩れ	直下型
22	1944.12.7	昭和19	33.8	136.6	東海道沖	7.9	東海・近畿各県 (東南海地震)	大阪小被害	海溝型
23	1946.12.21	昭和21	33.0	135.6	紀伊半島沖	8.0	中部から九州に至 る各県 (南海地震)	大阪府の被害状況：死者32、負 傷者46、住家全壊234、半壊19 4、非住家全壊27、半壊23、家屋 焼失1	海溝型
24	1952.7.18	昭和27	34.5	135.8	奈良県中部	6.8	近畿 (吉野地震)	大阪では死者2、負傷者75、住家 全壊9、半壊7、破損3、非住家全 被害13、道路破損2、橋梁破損3	直下型
25	1995.1.17	平成7	34.6	135.0	淡路島	7.3	兵庫県・大阪府 (平成7年(1995年) 兵庫県南部地震)	大阪府の被害の(うち高石市)： 死者9(0)、負傷者1,929(27)、全 壊874(0)、半壊6,935(0)、一部 損壊15,578(2,147)	直下型

(資料)「大阪の気象百年」(大阪管区気象台)

「府県別地震、津波災害年表」(大阪管区気象台)

「理科年表」(丸善)

資料13 兵庫南部地震による高石市の被害状況

人的被害

(平成8年8月31日現在)

区分	死亡者	行方不明	重傷者	軽傷者	計
人数	0人	0人	3人	24人	27人

建物被害

阪神・淡路大震災における高石市の町丁目別被害状況、但し数値は全て一部損壊である。(非住家を含む)

(平成8年3月31日現在)

町丁目	数	町丁目	件数
千代田 1丁目	94	加茂 1丁目	196
2丁目	20	2丁目	62
3丁目	83	3丁目	29
4丁目	23	4丁目	30
5丁目	49	小計	317
6丁目	53	綾園 1丁目	29
小計	322	2丁目	53
高師浜 1丁目	88	3丁目	100
2丁目	26	4丁目	13
3丁目	97	5丁目	10
4丁目	16	6丁目	136
小計	227	7丁目	11
羽衣 1丁目	44	小計	352
2丁目	2	西取石 1丁目	7
3丁目	14	3丁目	9
4丁目	13	5丁目	0
5丁目	87	6丁目	0
小計	160	7丁目	2
東羽衣 1丁目	147	8丁目	3
2丁目	205	小計	21
3丁目	191	取石 1丁目	3
4丁目	37	2丁目	9
5丁目	214	3丁目	7
6丁目	43	4丁目	5
7丁目	121	5丁目	0
小計	958	6丁目	1
高砂 1丁目	5	7丁目	0
2丁目	15	小計	25
3丁目	39	羽衣公園丁	-
小計	59	高師浜丁	-
南高砂	-	合計	2,441

高砂1～3丁目の被害状況は本市の立ち入り調査に基づくものです。

その他の被害

(平成8年3月31日現在)

区分	内容等	量
田畑		0 ha
文教施設	公立12(小学校:7、中学校:2、幼稚園:3)、私立1	13箇所
病院		3箇所
道路	通行不能(但し、2路線4箇所の一部損壊あり、又有料道路に於いて安全確認の通行禁止措置あり)	0箇所
橋梁		0橋
河川		0箇所
港湾施設損壊	(高石漁港:1箇所、企業専用パース:4箇所に軽易な被害あり)	0箇所
砂防施設損壊		0箇所
水道施設損壊	配水本管6箇所、配水池水位計1箇所	7箇所
清掃施設損壊		0箇所
崖くずれ		0箇所
鉄道不通	不通(JR、南海共に安全確認のため運行停止あり)	0箇所
船舶被害		0隻
電話	通話不能(一斉通信で一時通話不能状態が発生した)	0回線
電気	停電(約1分間の停電300戸あり)	0戸
水道	断水(家庭への引き込み管漏水371件)	0戸
ガス	供給停止(自動停止装置によるもの128件)	0箇所
ブロック塀	倒壊(一部損壊49箇所)	4箇所
その他	JR跡地、高砂公園、高砂野球場	3箇所

臨海企業立ち入り調査は別掲

避難所開設状況(指定避難所:市内20ヶ所)

開設した避難所名	開設日	受け入れ状況	人数
瑞松苑	1/17	発生直後6時過ぎに緊急避難のため受け入れ	6人
加茂公民館 (現中央公民館)	1/17・18	余震に対する避難(17日9人、18日1人)	10人
保健センター 1 (現社会福祉協議会)	1/17・18	発生直後6時過ぎに緊急避難受け入れ。余震に対する避難	8人
計			延24人

- 1: 指定避難所で無いが府営住宅高層階住民の緊急避難として受け入れた
- 2: 他の避難所については実績なし

消防活動状況

区分	内容	件数
消防活動	火災事案なし	0件
救急活動	救急車出動(病院へ搬入、軽症)	2件

## 臨海企業立入調査結果

(平成7年2月1・2・3・6日実施、92社調査)

### ・主な臨海企業の被害の状況

事業所名	調査結果
三井化学(株) 大阪石油化学(株)	液状化らしき現象、装置の破損(工水配管損傷)、施設の停止(手動による一部停止)、道路の亀裂
新日本石油精製(株)	液状化現象もしくは液状化らしき現象、防液堤の目地ずれ、危険物配管の損傷等(配管のフランジ部が緩み、C重油が若干量漏洩したもの。回収済み)、硫黄タンク・硫酸タンクの傾き、施設の停止(手動による全部停止)、防消火設備の異常(消火配管破損)、道路の亀裂
大日本インキ化学工業(株)	液状化らしき現象、施設の停止(手動による全部停止)、道路の亀裂
大阪ガス泉北第2工場(株)	液状化らしき現象、道路の亀裂

大阪石油化学(株)は、三井化学(株)大阪工場の合同事業所とされています。

### ・主な臨海企業を除く各事業所の被害状況

被害状況	被害事業所数	
	高砂1・2丁目	高砂3丁目
工場等敷地、建屋内の地盤沈下、亀裂、ひび割れ、液状化等	10	28
機械の傾斜、レールの曲がり等	5	13
設備(クーリングタワー、消火栓等)の破損	3	6
製品の荷崩れ等による破損	5	4
建屋の一部傾斜、破損	1	9
浄化槽の破損	3	1
水道管の破損	3	20

被害事業所数は被害状況別に算出しているため重複しています。

### 企業専用パースの被害状況

専用パースを所有している企業は13社で、内4社のパースにひび割れがありました。

## 資料 1 4 地震被害想定

### 1 . 大阪府地震被害調査の概要

#### 1 . 1 調査の目的

現行の大阪府地域防災計画では、紀伊半島沖を震源とする海溝型地震を想定して、昭和54年に地震防災対策に関し震災編として編入している。

海溝型地震を想定した地震防災対策に加え、直下型地震に対する地域防災計画の策定を行う。

そのため、兵庫県南部地震の教訓と大阪の地盤特性を十分に反映した被害の様相を定量的・定性的に予測し、「新・地域防災計画」検討のための基礎資料とする。

#### 1 . 2 前提条件

##### (1) 想定地震

海溝型地震の他、大阪府域及びその周辺地域に分布する活断層のうち、大阪府域に大きな影響を及ぼすと考えられる活断層を対象に加えた。

直下型地震	上町断層系
	生駒断層系
	有馬高槻構造線
	中央構造線
海溝型地震	南海トラフ

##### (2) 想定時期

想定時期は、地震火災や人的被害等で影響の大きい「冬季平日の夕刻6時頃」を基本とした。それとともに、事象の季節・時間帯による影響の違いを考慮した検討を加えた。

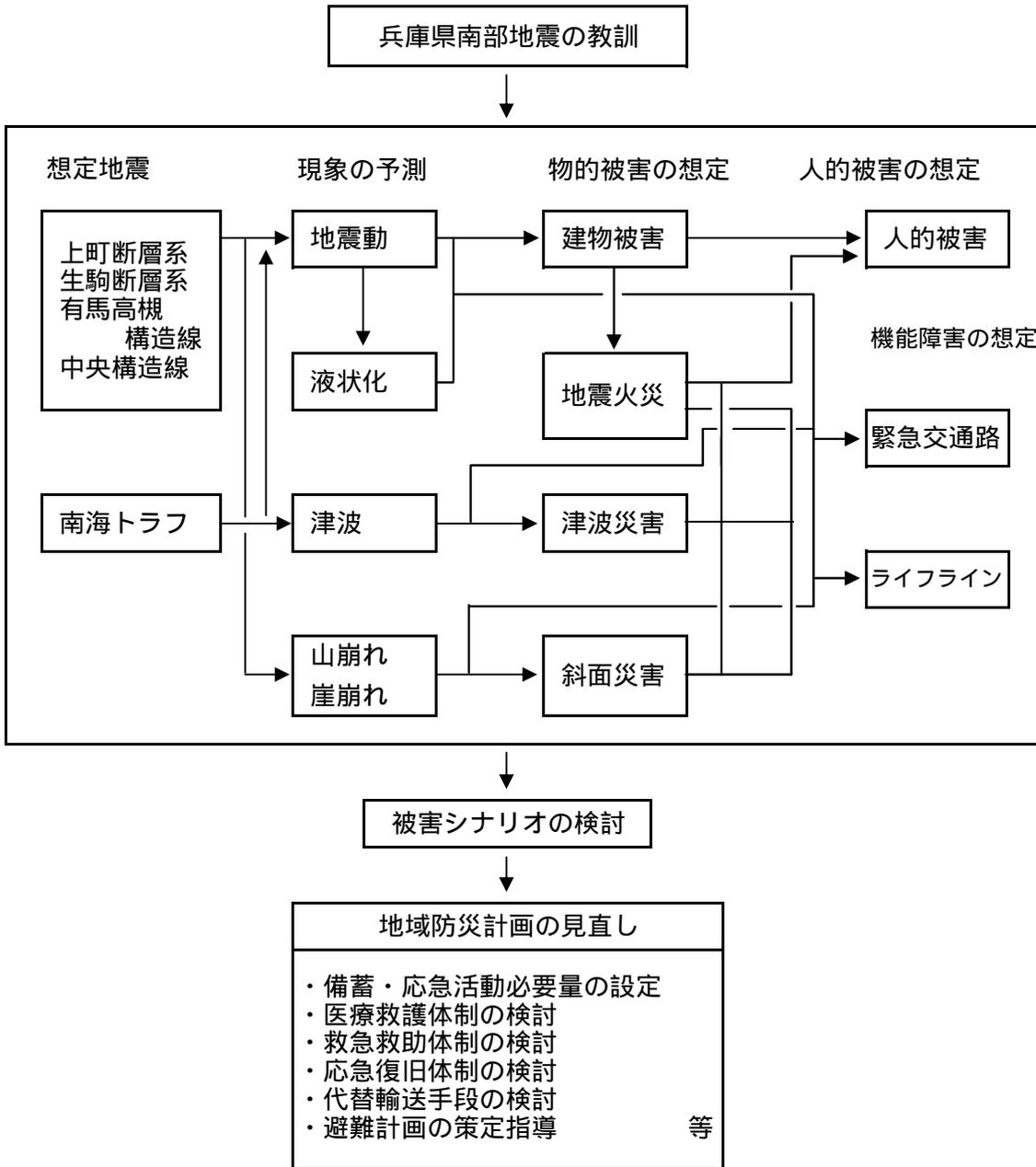
#### 1 . 3 調査項目

##### 調査項目と想定単位

項 目		調 査 内 容	想定単位
現象の予測	地震動	計測震度等	500mメッシュ
	液状化	液状化危険度	500mメッシュ
	津波	津波高、到達時間	沿岸域
物的被害	建物被害	全壊、半壊棟数	市町村単位等
	地震火災	炎上出火件数等	市町村単位等
	斜面災害	斜面災害危険箇所	市町村単位等
機能障害	交通機能	緊急交通路機能障害等	府域
	ライフライン	影響人口、復旧期間等	市町村単位等
人的被害		死者・負傷者数等	市町村単位等



図 地震被害想定調査フロー



## 2. 想定地震

### 2.1 直下型地震

活断層は、「新編日本の活断層」の活動度、確実度などから、大阪府に影響を及ぼすと考えられる4断層を選び想定した。

各断層の位置と長さは、同書の記載と大阪府域における過去の活断層・深部地下構造調査の成果を踏まえて設定した。

各断層の下端深さは、兵庫県南部地震の解析結果等から21kmに設定した。また、断層の傾斜角等は、反射法地震探査などの調査結果に基づき設定した。

各断層の破壊開始点（震源）は、兵庫県南部地震の事例から16kmに設定した。また、平均的な地震動を得るため、破壊は中央より両側に一様に進行すると仮定した。

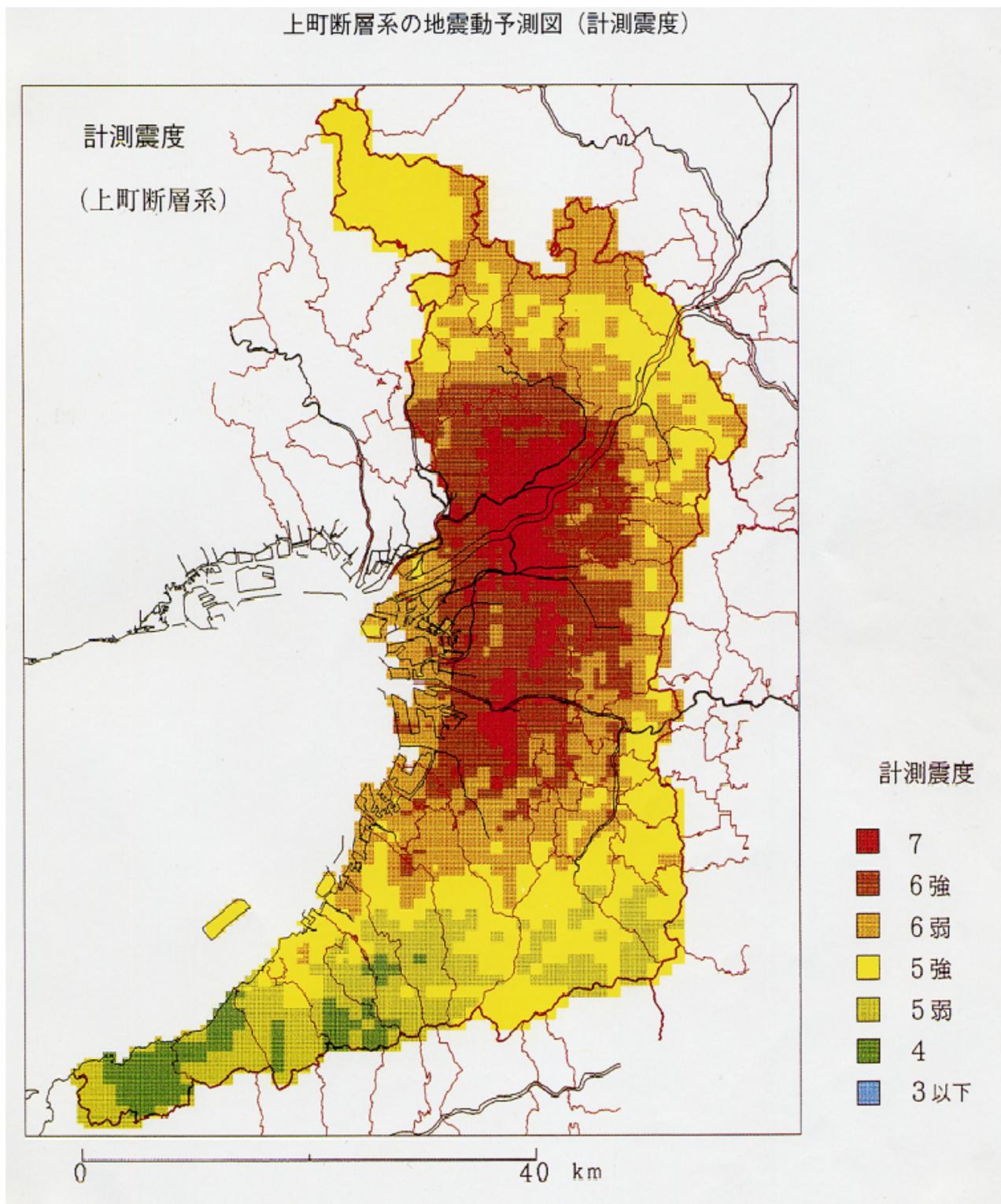
### 2.2 海溝型地震

フィリピン海プレートがユーラシアプレートに潜り込む南海トラフを想定した。

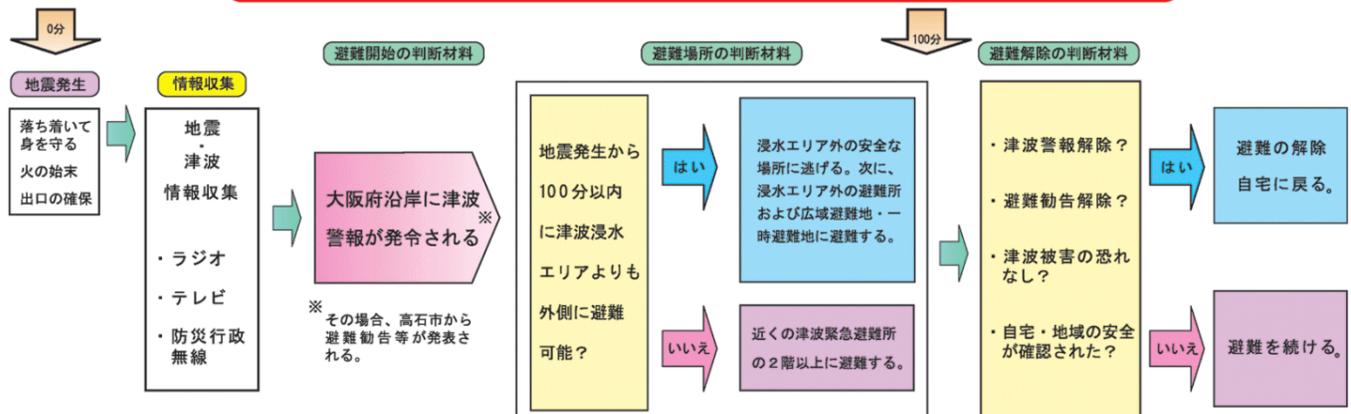
断層の長さは、既往地震（宝永南海地震1707年）を踏まえ、大阪府域での地震動が最大とみられる、南海から東南海にかけて連動する地震として設定した。

3. 被害想定（平成8年度）

		上町断層系			生駒断層系			有馬高槻構造線系			中央構造線系			南海トラフ系					
建物被害	被害の程度	全壊	半壊	合計	全壊	半壊	合計	全壊	半壊	合計	全壊	半壊	合計	全壊	半壊	合計			
	高石市	3,593	3,893	7,486	61	1,339	1,400	0	0	0	2	481	483	3	541	544			
	大阪府下	280,398	338,879	619,277	227,126	256,871	483,997	31,249	122,123	153,372	1,076	32,073	33,149	1,372	54,002	55,374			
出火	被害の程度	1日		3日		1日		3日		1日		3日		1日		3日			
	高石市	8		10		2		2		0		0		1		1			
	大阪府下	908		801		680		775		170		189		45		53			
人的被害	被害の程度	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷				
	高石市	136	1,170	2	277	0	0	0	0	92	0	104							
	大阪府下	15,849	115,755	11,849	74,620	1,823	41,201	120	5,825	80	9,259								
	交通	3,426	16,597	1,021	4,931	1,879	1,994	13	115	0	0								
	総計	19,275	132,352	12,870	79,551	3,702	43,195	133	5,940	80	9,259								
機能障害	交通機能障害箇所(府下)		32箇所			21箇所			13箇所			3箇所			0箇所				
	電	気	高石市堺市エリア	68千軒			0千軒			0千軒			0千軒			0千軒			
			府下	837千軒			322千軒			37千軒			0千軒			0千軒			
			復旧所要日数	約7日			約3日			約1日			なし			なし			
	ガ	ス	高石	23千戸			23千戸			0千戸			0千戸			0千戸			
			府下	245万戸			245万戸			158万戸			5万個			17万戸			
			復旧所要期間	約3～5ヶ月			約3～5ヶ月			約1～2ヶ月			約2週間以内			約2週間以内			
	上	水	道	高石市断水人口	50%以上 75%未満			25%以上 50%未満			25%未満			25%以上 50%未満			-		
				府下断水人口	663万人			299万人			246万人			155万人			-		
				復旧期間	約2ヶ月			-			-			-			-		
	通	信	影響人口及び世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数	対象人口	世帯数		
			府下 単位：千人	7,683	2,942	4,979	1,921	3,477	1,331	565	175	0	0						
			高石 単位：千人	64	23	0	0	0	0	0	0	0	0						
			復旧期間	施設復旧	約2週間			約2週間			約2週間			約5日			被害なし		
		輻輳回復	約7日			約7日			約7日			約3日			約2日				
鉄	道	震度	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7	5強～6弱	6強～7			
		府下 単位：百人	866	3,451	3,044	901	2,755	115	591	0	2,082	0							
		高石 単位：百人	7	30	4	0	0	0	29	0	0	0							
り	災	者	等	り災者	避難所生活者			り災者	避難所生活者			り災者	避難所生活者			り災者	避難所生活者		
				府下	2,801,882	851,791	1,802,925	531,070	701,283	206,729	114,544	33,630	219,283	65,590					
				高石	31,364	9,170	5,912	1,729	0	0	2,053	600	2,323	679					



なんかいじしん つなみひなん きほんてき なが  
**南海地震における津波避難の基本的な流れ**

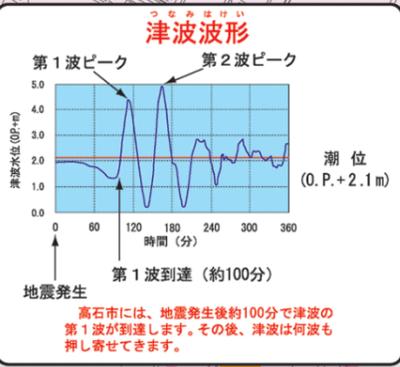


**強いゆれを感じたら、とにかく浸水エリア外に逃げましょう。**

つなみ  
**高石市津波ハザードマップ**  
 (Tsunami)

凡例

- 防潮堤
- 避難路
- 危険区域
- 水門
- 防潮扉
- 浸水深さ
  - ~ 0.5m
  - 0.5m ~ 1.0m
  - 1.0m ~ 1.5m
  - 1.5m ~ 2.0m
  - 2.0m ~ 2.5m



**このマップの使い方**  
 南海地震は、これまで約100~150年の周期で確実に発生しており、この地震が起こす津波は高石市の沿岸にも押し寄せると予想されています。津波災害から身を守るために、正しい災害の知識と心構えを身につけておくことが大切です。このマップは、災害時の予想浸水範囲、避難所、避難路、心得、問い合わせ先などをまとめたものです。予想される津波の浸水範囲や自宅・学校などからの最寄りの避難所はどこか、どのようなルートで避難するのか、などを確認の上、**分かりやすいところに保存または掲示してください。**

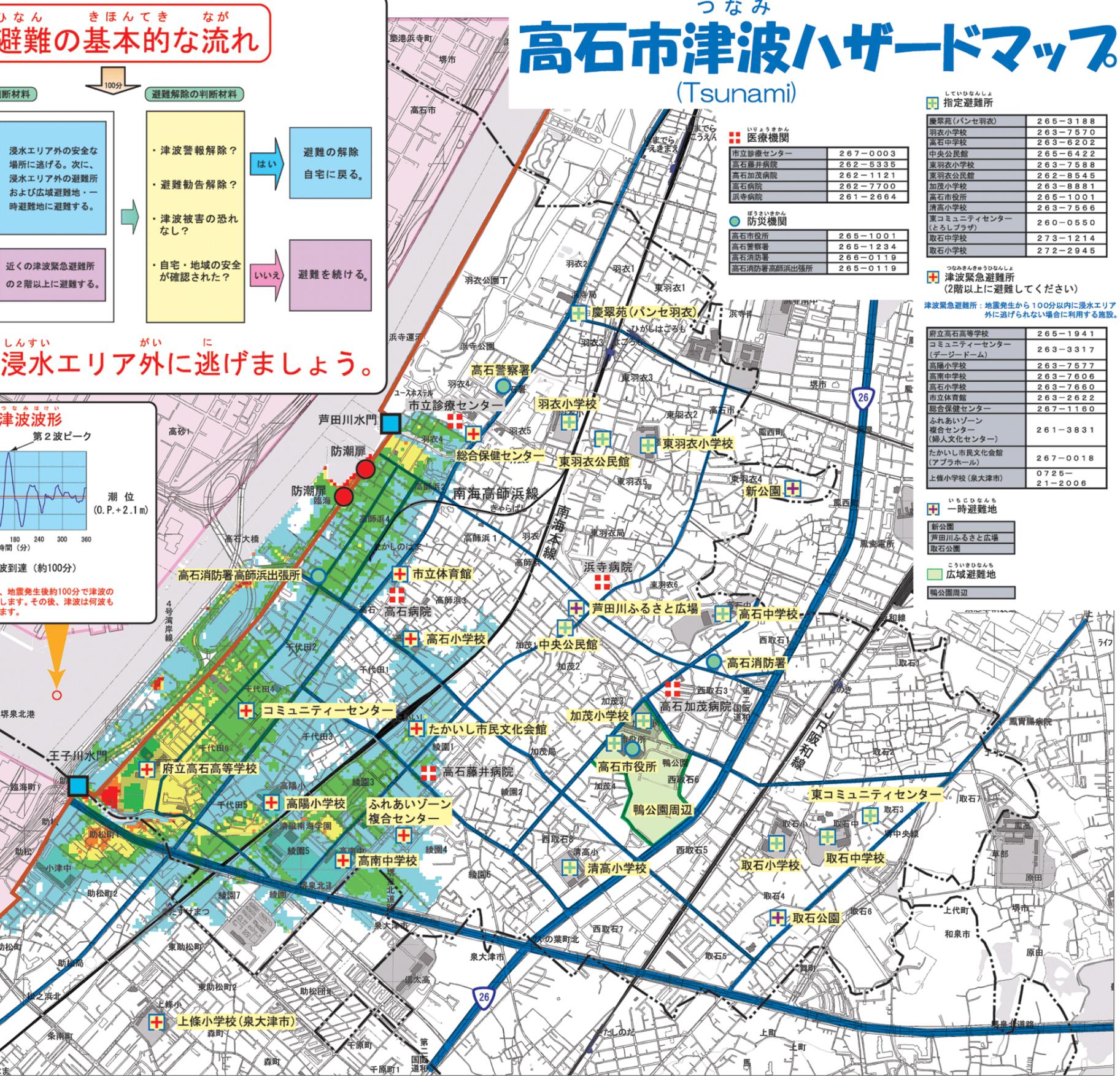
**想定される浸水範囲について**  
 このマップの中で表示している「予想浸水範囲」は、**水門や防潮扉が閉まらなかった場合**を想定した津波浸水予測計算結果（大阪府、平成15年度実施）に基づいて作成したものです。水門（）や防潮扉（）を閉鎖した場合は、羽衣4丁目の一部（芦田川以南）、高師浜2丁目、4丁目を除いて防潮堤（）より内陸部の浸水域は想定されていません。なお、平成17年度から、高石漁港背後の防潮堤を越えて内陸部に入ってくる津波を防ぐために、防潮堤のかさ上げ工事が予定されています。工事終了後は、防潮堤より内陸部の浸水は想定されていません。

- 地震の規模：マグニチュード8.4 (M8.4)
- 地震の震源：四国～和歌山県沖
- 津波時の潮位：満潮\*

\* 朔望平均満潮位 (O.P.+2.1m)  
 O.P.：大阪湾最低低潮面にに基づく基準面

※なお、今後実際に発生する地震の規模や震源によっては、浸水範囲が狭くなったり、逆にこのマップに示した浸水範囲以外のところも浸水したりすることがありますので十分注意してください。

平成17年5月 高石市



資料 17 大阪府に被害をもたらした過去の風水害

過去の風水害

災 害 名					室戸台風	
発 生 年 月 日		昭和 4年 8月15日	昭和 5年 8月 1日	昭和 8年 9月 4日	昭和 9年 9月21日	昭和10年 8月11日
気 象	最低気圧	987.9hPa	995.8hPa	986.1hPa	954.4hPa	995.3hPa
	最大風速	14.5m/s	9.3m/s		48.4m/s	42.0m/s
	最大瞬間風速				60m/s	
	雨量	28.4mm	134.9mm		223 mm	182.7mm
人 的 被 害	死者		2人		1,812人	
	行方不明者				76人	
	重傷				8,932人	10人
	軽傷					
	計		2人		10,820人	10人
家 屋 被 害	全壊(流失)				14,368戸	116戸
	半壊		13,328戸		15,674戸	74戸
	床上浸水	2,080戸		27,000戸	142,910戸	3,632戸
	床下浸水				40,830戸	43,669戸
	計		13,328戸	27,000戸	213,782戸	47,491戸
田 畑 被 害	水田流失冠水		1,103ha		42,500ha	
	畑流失冠水					
	計		1,103ha		42,500ha	
災 害 救 助 法 適 用 地 区						
備 考		高潮	豪雨による水害	高潮	高潮 大雨水害	

災 害 名				台風16号	台風20号	枕崎台風
発 生 年 月 日		昭和10年 8月28~29日	昭和13年 9月 5日	昭和19年 9月17日	昭和19年10月 7日	昭和20年 9月18日
気 象	最低気圧	985.0hPa	980.5hPa	986.0hPa	978.3hPa	981.1hPa
	最大風速	13.8m/s	13.2m/s	18.6m/s	18.6m/s	19.0m/s
	最大瞬間風速	21.6m/s	19.0m/s	21.8m/s	21.8m/s	22.5m/s
	雨量	74.4mm	18.9mm	53.3mm	52.3mm	2.8mm
人 的 被 害	死者				58人	4人
	行方不明者				45人	
	重傷				37人	
	軽傷					
	計				140人	4人
家 屋 被 害	全壊(流失)				1,132戸	
	半壊				863戸	
	床上浸水	1,304戸	1,919戸	8,591戸	5,358戸	28,234戸
	床下浸水	12,994戸	13,870戸	7,266戸		10,800戸
	計	14,298戸	15,789戸	15,857戸	7,353戸	39,034戸
田 畑 被 害	水田流没冠水					267ha
	畑流没冠水					
	計					267ha
災 害 救 助 法 適 用 地 区						
備 考			高潮	各地に豪雨被害大	和歌山県、 滋賀県、三重県	台風16号 高潮

災 害 名		阿久根台風	ジェーン台風	7月豪雨	台風13号	台風5号
発 生 年 月 日		昭和20年10月11日	昭和25年 9月 3日	昭和27年 7月10日	昭和28年 9月25日	昭和32年 6月26~27日
気 象	最低気圧	981.1hPa	970.3hPa		977.4hPa	998.5hPa
	最大風速	19.0m/s	28.1m/s		22.0m/s	14.4m/s
	最大瞬間風速	15.5m/s	44.7m/s		28.9m/s	22.8m/s
	雨量	3.2mm	64.7mm	388.7mm	176.1mm	293.0mm
人 的 被 害	死者	1人	240人	41人	26人	6人
	行方不明者	3人	16人		1人	
	重傷		21,215人	38人	47人	4人
	軽傷			416人	406人	
	計	4人		495人	480人	10人
家 屋 被 害	全壊(流失)	805戸	10,625戸	187戸	877戸	20戸
	半壊		60,708戸		3,354戸	
	床上浸水	10,034戸	54,139戸	192,238戸	13,434戸	121,819戸
	床下浸水	19,550戸	40,025戸		150,354戸	
	計	30,389戸	165,497戸	192,425戸	168,019戸	121,839戸
田 畑 被 害	水田流没冠水	267ha	7,486.05ha		43ha	2,314ha
	畑流没冠水		2,305.8ha		1,122.4ha	429ha
	計	267ha	9,791.85ha		1,165.4ha	2,743ha
災 害 救 助 法 適 用 地 区			大阪府下 全域	大阪市、堺市、 岸和田市、泉大津 市、貝塚市、泉左 野市、八尾市、泉 南郡、泉北郡	高槻市、茨木市、 三島郡(三箇村、 鳥飼村、王島村、 島本町)、北河 内郡(四條畷町、 四條町)	大阪市、(東成区、 生野区、西成区、 住吉区、東住吉 区、阿倍野区) 堺市、枚岡市、布 施市、河内市、岸 和田市、八尾市、 高石町
備 考		台風20号 高潮	台風28号 高潮	7市2郡	2市4町4村	7市6区1町
						東大阪水害 (6月水害)

災 害 名	台風6号	第二室戸台風	台風20号	42年7月豪雨	7月豪雨	
発 生 年 月 日	昭和36年 6月24～30日	昭和36年 9月16日	昭和39年 9月25日	昭和42年 7月 8日	昭和43年 7月2日	
気 象	最低気圧	1,003.2hPa	937.3hPa	987.4hPa		
	最大風速	9.8m/s	33.3m/s	19.0m/s		
	最大瞬間風速	12.0m/s	50.6m/s	31.7m/s		
	雨量	295.5mm	44.2mm	41.4mm	152mm	200mm
人 的 被 害	死者	1人	32人		5人	
	行方不明者				2人	
	重傷		211人	17人	11人	
	軽傷		2,181人		159人	
	計	1人	2,424人	17人	177人	
家 屋 被 害	全壊(流失)	11戸	3,386戸	104戸	62戸	
	半壊		21,356戸	15戸	110戸	
	床上浸水	2,855戸	61,488戸	10,563戸	16,684戸	1,200戸
	床下浸水	32,205戸	59,729戸		119,976戸	24,083戸
	計	35,071戸	145,959戸	10,682戸	136,832戸	25,303戸
田 畑 被 害	水田流没冠水	2,428ha	30,484.0ha	93ha	3,079.5ha	
	畑流没冠水	70ha	2,708.9ha			
	計	2,498ha	33,192.9ha	93ha	3,079.5ha	
災 害 救 助 法 適 用 地 区		大阪市(11区)、堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、枚方市、八尾市、泉佐野市、富田林市、枚岡市、寝屋川市、河内市、松原市、大東市、和泉市、柏原市、羽曳野市、篠石町、忠岡町、田尻町、岬町、泉南町、南海町、狭山町、登美丘町、美原町、美住町、門真町、交野町、四条畷町	泉大津市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町		
備 考	梅雨前線豪雨大水害		兵庫県、徳島県、高知県被害大	兵庫県被害大 台風7号崩れ	台風3号による梅雨前線の刺激	

災 害 名		豪雨	7月豪雨	台風20号	7月大雨	6月豪雨
発 生 年 月 日		昭和44年 6月25日	昭和47年 7月12日	昭和47年 9月16日	昭和50年 7月 4日	昭和54年 6月29日
気 象	最低気圧					
	最大風速					
	最大瞬間風速					
	雨量	106mm	300mm	117.5mm		497mm
人 的 被 害	死者			3人		
	行方不明者					
	重傷		3人	1人		
	軽傷		7人	8人		
	計		10人	12人		
家 屋 被 害	全壊(流失)		23世帯	8世帯		3世帯
	半壊		42世帯	90世帯		1世帯
	床上浸水	1,008戸	6,186世帯	9,283世帯	1,933世帯	1,336世帯
	床下浸水	28,239戸	40,346世帯	60,146世帯	22,493世帯	22,865世帯
	計	29,247戸	46,597世帯	69,527世帯	24,426世帯	24,205世帯
田 畑 被 害	水田流没冠水		851ha	385ha		1,233ha
	畑流没冠水		72ha			106ha
	計		923ha	385ha		1,339ha
災 害 救 助 法 適 用 地 区			大東市、東大阪 市、門真市、八尾 市  4市	大東市、東大阪 市、門真市  3市	大東市  1市	
備 考		梅雨前線の刺激	西日本被害大 梅雨前線の活動		梅雨前線による 大雨	梅雨前線による 大雨

災 害 名		台風16号	台風10号・豪雨	9月豪雨		
発 生 年 月 日		昭和54年 9月30日	昭和57年8月1～3日	平成6年9月6～7日		
気 象	最低気圧		985.2hpa			
	最大風速		13.4m/s			
	最大瞬間風速					
	雨量	149mm	209mm			
人 的 被 害	死者	1人	8人			
	行方不明者					
	重傷	1人				
	軽傷	4人	4人	3人		
	計	6人	12人			
家 屋 被 害	全壊(流失)		70世帯			
	半壊	19世帯	一部破損含 99世帯	1世帯		
	床上浸水	5,088世帯	10,610世帯	1,428世帯		
	床下浸水	41,489世帯	63,460世帯	4,375世帯		
	計	46,596世帯	74,239世帯	5,804世帯		
田 畑 被 害	水田流没冠水	291ha	1,145ha			
	畑流没冠水	9ha		5.5ha		
	計	300ha	1,145ha	5.5ha		
災 害 救 助 法 適 用 地 区			松原市、堺市、東大阪市、 3市	豊中市、池田市 2市		
備 考			台風とその後の低気圧による大雨			

過去の高潮潮位（大阪港）

明治以降の高潮被害記録

年 月 日	台 風 の 勢 力		備 考
	最大風速 (m/ssc)	高潮潮位 O . P + m	
明治 44. 6.18	SW 30.1	2.45	
大正 1. 9.22	WSW 25.9	3.10	
大正 10. 9.25	W 25.0	2.70	
昭和 4. 8.15	SW 14.5	2.44	
昭和 6.10.13	NE 12.7	2.40	
昭和 8.10.20	S 13.0	2.64	
昭和 9. 9.21	S 欠 測	4.50	室戸台風
昭和 12. 9.11	SW 14.5	2.70	
昭和 13. 9. 5	SE 13.2	2.66	
昭和 19. 9.17	SW 18.6	2.80	
昭和 20. 9.18	S 19.0	3.20	
昭和 25. 9. 3	S 28.1	3.85	ジェーン台風
昭和 26.10.15	WSW 15.7	2.95	ルース台風
昭和 28. 9.25	NNW 22.0	2.62	13号台風
昭和 34. 9.26	NE 28.9	2.54	伊勢湾台風
昭和 36. 9.16	SSE 33.3	4.12	第2室戸台風
昭和 39. 9.25	SSW 19.0	3.72	20号台風
昭和 40. 9.10	S 17.3	3.19	23号台風

山崩れ

年 月 日	直 接 原 因	場 所	災 害 の 様 相
昭和 15. 7.15	集中豪雨 雨 量 120ミリ	生駒山グライダー場	大阪側 500m <sup>3</sup> 奈良側 300m <sup>3</sup>
昭和 28. 9.25	13号台風	中河内地区	堰堤満砂し荒廃、植林地崩壊
昭和 32. 6.26 ~ 6.28	集中豪雨 雨 量 300ミリ	生駒山系 枚岡市	水源山地の崩壊 溪流の荒廃
昭和 35. 8.29 ~ 8.30	台 風 16号 豪 雨 460ミリ	小和田川西側流域 立 谷	崩壊120カ所 94,000m <sup>3</sup> 土砂堆積 129,350m <sup>3</sup> 最深部 } 大崩壊 山 腹 } 溪岸表土崩壊